



農作業事故防止の強化に向けた取組事例

新潟県

よいた 危険マップ等を活用した安全意識の啓発（長岡市与板地区（旧与板町））

取組の概要

近年、農業従事者の高齢化等により高齢農業者の事故が増加傾向にあるため、農作業安全の啓発活動と現場改善を一層進める必要がある。そこで、生物系特定産業技術研究支援センターの指導のもと、長岡市与板町の農業機械士が中心となって地域における安全活動の取り組みを実施した。

取組みの背景・内容

平成10年度以降、農業機械に関する交通事故は無かったが、平成15年度に農業者の乗った乗用型トラクターが乗用車に追突され、1名の軽傷を負った。

これをきっかけに長岡市与板町の中で比較的交通量の多い上与板地区、本与板地区を対象にヒヤリ体験や事故の情報を収集して平成17年1月に危険マップ(図1)を作成し、地域住民に配布した。

ヒヤリ体験や危険箇所の点検結果をもとに、町役場や河川事務所と相談し、自動車と農耕車が交差する危険力所に注意警告板の設置や農道の一部拡幅、進入路の拡幅工事等を行った。また、トラクターや作業機の側面に反射シールを貼り付ける取り組みを行った。



図1:危険マップの作成

取組みによる成果

危険マップを地域住民に配布することで、農作業安全の課題を地域で共有することができたほか、高い意識啓発を図ることができた。

危険マップの配布及び注意警告板の設置以降は、農業機械による交通事故は発生していない。

内容照会連絡先

新潟県農業機械士会(会長 伊藤一栄) TEL0258-72-3895